

1 日時 平成 28 年 7 月 29 日(水)午後 1 時から午後 3 時 10 分

2 場所 生駒市役所4階 403 会議室

3 出席者

○生駒市環境マネジメントシステム推進会議専門チーム

楠下孝雄委員、楠正志委員、小宮山豊委員、矢田千鶴子委員

○事務局

川島環境モデル都市推進課長、北里地球温暖化対策係長、竹田

4 配布資料

資料 1 環境モデル都市における平成 26 年度の取組の評価結果

資料 2 平成 27 年度生駒市環境マネジメントシステム数値目標達成状況(市域における数値目標)

資料 3 平成 27 年度環境マネジメントシステム数値目標達成状況(公共施設における数値目標)

資料 4 平成 28 年度公共施設における数値目標(案)

5 会議の要旨

(1)開会

- ・過去の活動により各部局での協力も定着している。活動の結果ははっきりと数字として表れてくる。27 年度の結果をベースにした 28 年度の目標設定についても十分審議してほしい。

(2)平成 27 年度数値目標の達成状況について

●資料2に基づき、市域における数値目標達成状況について事務局から説明

- ・鉄道利用者が減少しているのは、団塊の世代の定年退職による通勤者数の減少が大きいのではないかと推測される。生駒市は住宅開発の進んだ時期に入居した住民の大半が団塊の世代のため大きな影響を他市よりも受けているのではないかと。特に近鉄奈良線以北に住んでいる人が顕著である。このような状況を鑑み目標数値自体を見直す必要はないのか。

→環境基本計画によって定められた数値であるため、次に計画を見直すときに検討する必要がある。

・二酸化炭素排出量削減について

- 技術革新等がないと一気に進まない。店舗等(事業系)のエネルギー消費の削減も進んでおり -20%程度。世帯数が増えたこともあるが、家庭部門(民生)部門の削減が厳しく、-2%くらいである。
- 個人のライフスタイルの見直しが求められている。

・達成率はどのように出しているのか。

→(基準年度実績値-2015 年実績値) / (基準年度実績値-目標値)

目標としてどれだけ減らそうとしているのかに対し、2015 年度現在でどれだけ減ったか、という考え方である。

- ・温室効果ガス排出量の基準年度実績値である 32.5 はどう出しているのか。
  - 電気、都市ガス、LPG等対象となる使用品目のデータを市、県、国など色々な統計から取り CO<sub>2</sub> 換算している。新電力が一般的になったとき統計も出しにくくなるため、どうしていくか考えなければならぬ。
- 資料 3 に基づき、公共施設における数値目標達成状況について事務局から説明
- ・評価について 80%以上は○というのは甘いのではないかと？ ○と△の幅が広い。
  - 変更する。後ほど議論する。
- ・LPG の減少理由が生駒北中学校の改修によるものだとすると、小中一貫校ができる 29 年度には増えるのではないかと？エコ改修の効果や利用休止期間を配慮した評価をしないと数値としては跳ね上がる。問題が浮上してからではなく 30 年度の評価をどうするか、H28 年度目標設定時に再度考える必要がある。

・評価方法見直し(決定)

<数値目標>

評価区分 (%)	4 段階評価
110 以上	◎
90～110 未満	○
60～90 未満	△
60 未満	×

<増加させない目標>

評価区分 (%)	4 段階評価
105 以上	×
100.1 以上～105 未満	△
90～100 以下	○
90 未満	◎

- ・新規稼働、休止施設の扱いをどうするか。
  - 清掃センター、エコパーク、浄水場についてはプラント系であり常時稼働しているためエコオフィスの努力が及ぶ余地がないという認識を持っているので、継続して対象から外している。
- ・27 年 6 月に開業した市立病院も同様にプラントのようなもので、電気の使用量もすごく多い(約 220 万 kWh。これは清掃センター(約 490 万 kWh)に次ぐ使用量。市役所庁舎で約 95 万 kWh)。影響が大きいので対象外にしたい。
  - 基準年度時の施設と同じ条件で見れば良いのではないかと。新規稼働の市立病院については別枠とし、単独で努力はしてもらおう。照明は現在蛍光灯だが LED に換える計画をしている。
- ・紙類使用量が増えている。特殊要因があればコメントで記載すればよいが、理由はなぜか。
  - 高齢施策課が増えている理由を確認する。
  - 特定部局でなく全体として、今まで外注印刷していたものがコスト削減もあり自前印刷となるケースが増えている。例えば、印刷製本費は H22 年度比で H25 年度は 10%減。シティプロモーションにも力を入れており印刷物も増えていることも考えられる。一概には言いにくい。
- ・増えている所属ワースト3くらいに原因を確認し、バックデータを担当課で作る必要がある。⇒抑制

につながる。

→来年度は帳票2、3を照会するとき書いてもらうことも可能。

・ゴミ排出量の内訳は把握しているか。

→データは可燃ゴミのみ。資源ゴミ、シュレッダーゴミは含まれていない。指定管理施設も事務所で計量し数値管理している。

・排出が多いところだけでも内訳等を把握しておく必要があるのではないか？次の改善のヒントになると思う。

・事業系ゴミはいろいろなものを事業系ゴミとして出しているから把握は難しいのではないかな？

→指定管理施設も庁舎内と同様に分別してリサイクルできないものを事業系ゴミとして出している。

・北大和の夜間照明について、以前はかなり点灯していた印象がある。現在は昼間使用のみだが夜間使用も開始されることになれば注視が必要。

### (3)平成 28 年度数値目標について

#### ●資料 4 に基づき事務局から説明

→防犯灯の無電極ランプへの切り替えが今年度までなので、生駒市で管理している街路灯について水銀灯が無くなることにより大きな効果が見込める。このため、一番CO<sub>2</sub>排出量に影響が大きい電気使用量の削減を H27 年度より大きな目標としている。

・節水栓が全庁舎に普及し、1階の工事が終われば9割方節水栓になる。「27 年度比増加させない」という目標の達成が見えているように思うが数値はこのままでよいかな？

→本庁舎が占める割合は全施設のうち 1 割未満なので加味しなくて良いという結論に。学校のトイレ改修も順次行われている為、今後効果も見込める。

・「増加させない目標」のものには H22 年度、H27 年度実績値を資料に入れるのかな？

→具体的数値を入れる。

・公用車の切り替えの効果はいつ頃出るのかな？

→既に効果は出ている。燃費性能も上がってきている。市所有の公用車は約 90 台。切り替えは古いものを予算取りしながら順次換えている。28 年度についても予算取りはされており執行するかどうかは確認する。

・CO<sub>2</sub> 以外が全部前年と同じ目標だとあまりよくない。ガソリン使用料は 27 年度実績を見ても 22 年度比ならばすでに達成していることもあり 16%以上削減でも良いのではないかな？

→16%にする。(H27 年度実績並み)

・紙削減について、外部印刷の方がコスト的にも安くなるときがある。内部でやるのがいいのか検証が必要。(企業だと基準がある。)

・CO<sub>2</sub> 削減値について他市との比較はしているかな？

→他市はデータを出していないところがほとんどであるが、再度確認を行う。

### (4)その他

#### ●今年度の環境マネジメントシステムの運用について

・帳票 3 別紙の様式は、該当しない欄を設ける等の見直しが必要。

→今回、監査報告書を書くときにこの点は注意書きを入れる。

→ヒアリング実施所属のうち、修正が必要なところは再提出してもらう。

- ・帳票 3 については、事前に疑問点を聞きだして所属に確認する作業が必要。
  - ・それぞれの班で出した評価について全体で統一的な合意形成を図る作業がなかった。
  - ・担当職員の経験で記録能力に差が出るので、記録用紙を作成する必要があるのではないか。
  - ・それぞれの所属が帳票を記入する際の指示出しとチェック作業が必要。
  - ・資料はもう少し早目にもらい勉強したい。
  - ・書類監査だけでなく現地監査があつてよかった。
  - ・本来業務に絡めた取組の説明があつたが、もっと本来業務中心の記入にしてほしい。
  - ・午前中で 3ヶ所回るとは思っていなかった。
  - ・ヒアリング時間 20 分は短い。30 分は欲しい。(広く、深く、寄り添った監査をすると時間がかかる)
  - ・学校では校長先生と共に若手の先生が出席される、など良い流れができてきた。
  - ・水平展開が望まれる。(グリーンフラッグなど)
  - ・できれば学校は水俣市が実施しているキッズ ISO の仕組みが作れたらよい。
- これらの意見をふまえ、監査報告書(案)を作成の上、会長・副会長に見てもらった後、委員にも送付する。

- ・アクションプランに関して内閣府のコメントはあるか？
- 資料1裏面最後の欄に記載あり。(有識者コメント)
- ヒアリングは 11 月か 12 月にある。
- 温室効果ガスの削減・吸収量については、初回報告義務はない。

## (5) 閉会